

会津地域の湛水直播栽培における「ひとめぼれ」の生育診断指標

福島県農業試験場会津支場

平成11年春夏作試験成績概要(会津支場)

平成12・13年福島県農業試験場試験成績概要

1 部門別

水稲－水稲－生育診断予測－水稲直播

分類コード 01-01-25750000

2 担当者

手代木昌宏・松本靖・齋藤弘文・大谷裕行

3 要旨

「ひとめぼれ」を用いた会津平坦地域の湛水直播栽培において、倒伏程度 $200(\sum \text{倒伏程度}(0-4) \times \text{倒伏面積率}(\%))$ で安定した収量を得るための生育指標を検討した。

- (1) 倒伏程度200以下を目標にした場合の稈長は85cm以下であった。また、稈長を85cm以下とした場合の幼穂形成期の生育目標値は、草丈が60cm以下、あるいは生育量(草丈(cm)×茎数(本/㎡)×SPAD502指示値)が $1.6(\times 10^6)$ であった。
- (2) ㎡当りの籾数が3.5万粒までは籾数が多いほど増収する傾向が認められたが、3.5万粒を超えると玄米重のばらつきが大きくなった。
- (3) 幼穂形成期の生育量と㎡当り籾数の関係から、籾数が3.5万粒以下となる生育量は $1.9(\times 10^6)$ 以下であった。また、倒伏程度200以下とした場合の生育量 $1.6(\times 10^6)$ から得られる籾数は、3.1～3.2万粒と推定された。
- (4) 以上から、ひとめぼれの湛水直播栽培において、倒伏程度200以下を目標にした場合の幼穂形成期の生育指標は草丈が60cm以下、生育量(草丈(cm)×茎数(本/㎡)×SPAD502指示値)が $1.6(\times 10^6)$ 、㎡当りの籾数が3.1～3.2万粒と推定された。

4 その他資料等

なし